

栄町見聞録

第164号

平成二十八年五月(選挙報告)



執筆発行 栄町議会議員
野田 泰博
栄町安食台1丁目8番7
メール yasuda8750@gmail.com
Tel 0476-86-3665



平成28年4月17日の当選議員の役職決定(5月2日) 議長は大野博議員、副議長は金島秀夫議員

(表1)

2016/4/17平成28年栄町議会議員選挙								2012/4/15平成24年栄町議会議員選挙									
結果	票数	氏名	年齢	性別	党派	期数	4年前と比較	結果	票数	氏名	年齢	性別	党派	期数			
1	当	1106	早川久美子	57	女	公明党・新	1	-	1	当	1167	染谷 茂樹	62	男	公明党	3	
2	当	915	大野信正	71	男	無所属・元	2	212%	2	当	1068	橋本 浩	35	男	無所属・現	2	
3	当	858	橋本 浩	39	男	無所属・現	3	80%	3	当	809	大沢 義和	63	男	無所属・現	4	
4	当	720	野田泰博	68	男	無所属・現	7	91%	4	当	792	野田 泰博	64	男	無所属・現	6	
5	当	703	大野 博	69	男	無所属・現	5	93%	5	当	792	戸田 栄子	67	女	日本共産党	9	
6	当	674	岡本雅道	64	男	無所属・新	1	-	6	当	753	大野 博	65	男	無所属・現	4	
7	当	674	戸田栄子	71	女	日本共産党	10	85%	7	当	710	大野 徹夫	53	男	無所属・現	2	
8	当	617	大澤義和	67	男	無所属・現	5	76%	8	当	680	松島 一夫	59	男	無所属・現	4	
9	当	615	松島一夫	63	男	無所属・現	5	90%	9	当	651	鈴木 照夫	69	男	無所属・新	1	
10	当	589	大野徹夫	58	男	無所属・現	3	83%	10	当	640	藤村 勉	59	男	無所属・現	4	
11	当	558	藤村 勉	63	男	無所属・現	5	87%	11	当	630	高萩 初枝	57	女	無所属・現	6	
12	当	556	高萩初枝	61	女	無所属・現	7	88%	12	当	491	金島 秀夫	71	男	無所属・現	4	
13	当	525	新井茂美	48	女	無所属・新	1	-	13	当	442	菅原 ひろゆき	50	男	無所属・新	1	
14	当	499	金島秀夫	75	男	無所属・現	5	102%	14	当	440	山田 真幸	62	男	無所属・元	3	
15		312	山田真幸	66	男	無所属・現	4	71%	15		431	大野 信正	67	男	無所属・現	1	
16		242	菅原洋之	54	男	無所属・現	1	55%	16		399	熊谷 博	68	男	無所属・元	3	
計		10,163							計		10,895						
無効		97							無効		100						
投票総数		10,260	56.02%投票率				-7%		投票総数		10,995	57.51%投票率					
有権者数		18,315	8055人が棄権						有権者数		19,119	8121人が棄権					
合計			候補者年齢	62.1	有権者数	18315	-4%		合計			候補者年齢	60.7	有権者数	19119		
			8055	新議員平均年齢	62.4	投票率	56.02%					10995	新議員平均年齢	59.7	投票率	57.51%	
			6748	男性10人得票	63.7	当選男平均年齢	63.7					8643	男性12人	59.3			
			2861	女性4人得票	59.3	当選女平均年齢	59.3					1422	女性2人	62.0			

選挙の感想

今年の町議会議員選挙の特徴は初挑戦の3人が町民の期待を集めた選挙でした。公明党推薦の新人議員は相変わらず選挙には強く、トップ当選。前回9票差で落選した大野信正議員は4年前より21.2%も票を伸ばし2位当選。新人議員をのぞく当選議員のほとんどが票獲得数を下げた中で、その得票の仕方は見事なものであった。平成12年の世代交代時は15人も新人候補がいた。過去の選挙を見ると(表3)、前回2人と今回3人の新人議員候補となり、新人のチャレンジが激減している。当選者の年齢も40才から60才代に変化している。この現象はどの市町村も同じ。しかし、今回の選挙ではチャレンジした女性候補者が現職、新人ともに全員が当選し、議員の28%になり、議会が活性化することが期待される。ちょうど栄町も子育て世代に手厚い政策を実施し始めたところだ。

新議員は5月2日に臨時議会が招集され、役職を決定した。14人の議員で3つの委員会を維持させるには難しく、議長、委員会委員長を除くすべての議員が2つの委員会に所属することに決めた。(表2参照)ようやく形は整った。まずは議会運営を無理なくすることだと思おう。

議員の役職

議長選は大野博13票、金島1票で大野博氏が議長。副議長は金島10票、藤村4票で金島氏が副議長となった。その後、3常任委員(表2参照)一部組合議会議員選出(一部組合議会とは印西市、白井市と組んで事業をする組合。通常はベテラン議員を)

送り込む。栄町議会として組合議会議員は印西地区環境委員会に2名、印西衛生組合に2名、長門川水道組合に3名、それぞれ選挙で決めた。(表2)

議会運営委員会
正副委員長が集まり議運の委員長を決定。委員長は大沢氏、副委員長に松島氏。

2016年4月選挙後、議員同士で選挙もしくは話し合いで決める役職(5月2日) (表2)

氏名	一部組合議員(選挙)	委員会に1人が2つ所属。希望と話し合い	希望委員	議会内役職	議会運営委員会(役職)
大野 博		総務	議長	議長	
金島秀夫		経済建設 (教民)	副議長	副議長	
大野 博		総務	一次希望者	総務常任委員長	委員長
大澤義和		総務 (経済建設)	一次希望者	総務常任副委員長	副委員長
松島一夫		総務 (経済建設)	一次希望者		
野田泰博	印西環境整備	総務 (経済建設)	一次希望者		
岡本雅道		総務 (教民)	一次希望者		
藤村 勉	印西環境整備	総務 (教民)	一次希望者		
早川久美子	印西衛生組合	総務 (教民)	一次希望者		
大野信正		総務 (経済建設)	一次希望者		
戸田栄子	印西衛生組合	教民 (経済建設)	一次希望者	教育民生常任委員長	委員
高萩初枝	長門川水道	教民 (経済建設)	一次希望者	教育民生常任副委員長	委員
藤村 勉	印西環境整備	教民 (総務)	一次希望者		
早川久美子	印西衛生組合	教民 (総務)	一次希望者		
新井茂美	長門川水道	教民 (経済建設)	一次希望者		
金島秀夫		(教民) 経済建設	一次希望者		
橋本 浩		(教民) 経済建設	一次希望者		
岡本雅道		(教民) 総務	一次希望者		
大野徹夫	長門川水道	経済建設	一次希望者	経済建設委員長	委員
橋本 浩		経済建設 (教民)	一次希望者	経済建設副委員長	委員
金島秀夫		経済建設 (教民)	一次希望者		
大野信正		経済建設 (総務)	一次希望者		
新井茂美	長門川水道	経済建設 (教民)	一次希望者		
松島一夫		(経済建設) 総務	一次希望者		
野田泰博	印西環境整備	(経済建設) 総務	一次希望者		
高萩初枝	長門川水道	(経済建設) 教民	一次希望者		

議員の本分

24年前、議会だよりは議員が作るべし、と私は主張し、議会だより編集委員会が発足。以来、新人議員がその担当になってきた。総務委員会の皆が「議会全体を把握できて勉強になる」と、委員会唯一の新人岡本議員に委員就任を勧めた。しかし、自治会が忙しいという理由で辞退。私を含め、ベテラン議員達は議員、自治会長、自分の仕事の三つを平然と兼務してきた。自治会の多忙を理由にして議会の役目を断った人は過去いなかった。委員会からは二名の委員を出すので、私がやらなければならぬ。

印西市、白井市、栄町の住民のゴミ処理施設である印西地区環境整備組合は4

平成4年から平成28年までの町議選の定数と新人挑戦者数及び新人現職当選者数 (表3)

	1992年4月18日	1996年4月14日	1997年1月18日	2000年3月12日	2004年3月14日	2008年3月18日	2012年4月15日	2016年4月17日
	平成4	平成8	平成9	平成12	平成16	平成20	平成24	平成28
定数	18	18	5	18	18	18	14	14
候補者数	21	22	7	23	25	21	16	16
候補者平均年齢	55.1	53.5	47.1	54.2	54.0	54.0	60.7	62.1
当選者平均年齢	55.3	53.5	45.8	53.2	52.4	55.9	59.7	62.4
新人候補者	8	9	7	15	8	6	2	3
新人候補当選者	5	6	5	10	4	4	2	3
備考			(補欠選挙)					

平成28年度6月定例議会日程

- 日時 6月7日～17日
- 場所 栄町庁舎5階議場(自由に傍聴)
- 内容 町長よりの議案(5月末に決定)
議員の一般質問(後半の3日間)
- 請願:「平和安全保障関連法」廃止の請願予定
- 詳細は5月31日の議会運営委員会で決まるので
議会事務局に電話でご確認ください。

議員も高齢化

私は今から24年前、「サラリーマンは真面目な納税者、私はサラリーマンのまま議員になって納税した税金の使い道を皆さまに知らせる」と有権者に約束し、議員になった。当時は外資系の資源開発兼営業部長だった。実績を落としたり「クビ」という約束で会社と議員を勧め上げた。その時44歳。当時の議員の平均年齢は55歳。現在の議員の平均年齢は62歳(上記表3は栄町見聞録の過去の選挙報告より引用)。当時は多い時で15人も新人がチャレンジした。徐々に議員に出馬する人は少なくなり、24年間で議員当選者の平均年齢は7歳上がり、議員にも高齢化の波が押し寄せた。今、日本の各市町村で無投票選挙が行われていて、いざ栄町でもそうなるだろう。町民も高齢化、議員も高齢化が続き、選挙もなくなるというところまでいってしまう。50才の若者でもい、我々を押しつけて議員

